

羅針盤

祝 進級! 中学校生活最後の1年の始まりです!



3年生への進級、おめでとうございます。いよいよ中学校生活最後の一年の始まりです。3月はコロナウイルスの感染拡大防止のため、急きょ臨時休校の措置が取られ、思わぬ形での2年生の終わりを迎えたわけですが、ここからは新しいクラスでの再スタートになります。

さて、義務教育最後となるこの一年はどんなことが待っているのでしょうか。ぜひ、クラスのみんなと、学年のみんなと最高の思い出を作ってくださいね。

進路とは...

今年度、じっくり考えてほしいことは「中学校を卒業して、どんなふうに生きていくか」ということです。進路といえば、「進学すること」、「どの学校に行くか」だけではありません。その先にある自分の人生をどうやって歩んでいくか…というところまで目を向けて選択できるといいですね。

しかし、まだまだ何をしたいのかなんてわからない人もいると思います。では、どうしたら見つかるか。それはどんな場面でも「全力で、真剣に取り組むこと」です。そうすることで、自分はどんなことに夢中になれるのか、がんばれるのか、好きだと思えるのか、ということが一つのヒントになると思います。つまり、今日の前にある状況の中で、できることに全力でぶつかってみてください。新たな自分が見つかるかもしれませんよ。



進路実現のために...

みんなが「なりたい自分」になるためにはたくさんの選択肢があります。そのたくさんの選択肢の中から、自分の興味、関心、自分の適性などから選んでいくことになります。でも、どんな選択肢があるかはどのように知ることができるのか。3年生になると、高校などからの案内が増えます。学校案内もあれば、オープンキャンパスの案内もあります。それら一つ一つがみんなの選択肢の一つです。必ず目を通して、保護者の方に渡るようにしてください。そして、興味のある学校などがあれば、それに積極的に参加しましょう。「わからない」、「どうしよう」だけでは何も進みません。

家に進路関係のプリント類を整理する習慣をつけましょう。よろしくお願いします。

羅針盤とは...

人が道に迷いそうになったとき、頼りになるものは地図。しかし、地図があってもどちらが北かがわからないと、地図も使い物にはなりません。そんな時、方角を調べるもののが方位磁針（羅針盤）です。社会でも習ったと思いますが、世界の3大発明の一つ、羅針盤。

先生たちは、みんなが道に迷いそうになったときこの羅針盤のようにみんなを導けるような存在になりたいという思いで、この進路通信の表題を羅針盤としました。この1年互いに協力してみんなが思い描く進路選択ができる事を願っています。

